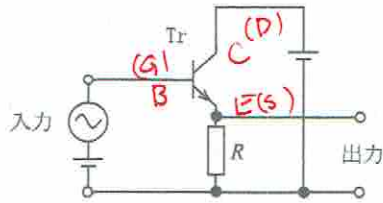


B-3 次の記述は、図に示す増幅回路について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。



Tr: トランジスタ
R: 抵抗
—|—: 直流電源

- (1) この回路は、ア 接地増幅回路であり、エミッタホロワ 増幅回路とも呼ばれる。
 (2) 入力電圧と出力電圧の位相は、イ である。9 同位相
 (3) 電圧増幅度の大きさは、約 ウ である。
 (4) エ インピーダンスは、一般に他の接地方式の増幅回路に比べて高い。
 (5) この回路は、オ 変換回路としても用いられる。

- | | | | | |
|--------|-----------|-------|-------|-------|
| 1 エミッタ | 2 インピーダンス | 3 100 | 4 逆位相 | 5 出力 |
| 6 コレクタ | 7 電圧 | 8 1 | 9 同位相 | 10 入力 |

6 9 8 10 2



B-4 次の記述は、同軸給電線及び平行二線式給電線について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

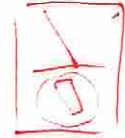
- (1) 同軸給電線は、中心導体と外部導体とからなり、両導体間に ア が詰められている イ 形の給電線である。
 (2) 平行二線式給電線は、太さの等しい二本の導線を平行にした線路で ウ 形の給電線である。この給電線は構造が簡単であり、同軸給電線に比べ外部から誘導などの妨害を エ。受ける、平衡
 (3) 同軸給電線を半波長ダイポールアンテナに接続するときは、オ を用いて平衡-不平衡変換を行う。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|-----------|
| 1 スタブ | 2 半導体 | 3 平衡 | 4 受けにくい | 5 短縮コンデンサ |
| 6 バラン | 7 絶縁物 | 8 不平衡 | 9 受けやすい | 10 SWR 計 |

7 8 3 9 6

B-5 次の記述は、永久磁石可動コイル形計器を用いたアナログ式回路計(テスタ)の使用方法について述べたものである。このうち正しいものを1、誤っているものを2として解答せよ。

- ア 測定に先立ち、メータの指針の指示を確かめ、ずれていたなら零位調整ネジを回して修正する。1
 イ 電圧の測定誤差を減らすため、指針がメータの中央付近になるような測定レンジを選ぶ。2!
 ウ メータの指示を読み取るときは、メータの正面から読み取る。1
 エ 電圧を測定する場合、使用するテスタの内部抵抗が大きいほど、被測定回路に与える電氣的影響は大きい。2
 オ 交流電圧測定レンジを使用して、正弦波以外の交流電圧を測定すると、測定値に誤差を生ずる。 1 正弦波 2



1 2 1 2 1